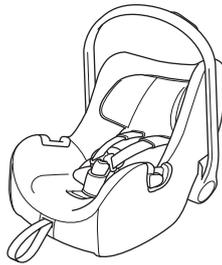


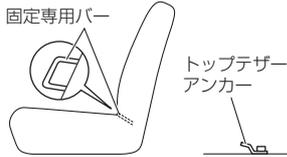
このベビーシートは、自動車事故などの際に衝撃を緩和することを目的につくられた年少者用補助乗用装置です。

ベビーシートの確実な取り付けとともに安全運転をお願い申し上げます。



ISOFIX対応ベビーシート

このベビーシートは専用のベースとテザーベルトを併用することにより、お車のISOFIX対応チャイルドシート固定専用バーに取り付けることができます。



固定専用バーとは、
お車のシート座面と背もたれの間
に組み込まれている直径6mmのバーの
ことです。

ISOFIX仕様

カテゴリー	セミユニバーサル (準汎用型)
グループ	0+ (13kg未満)
サイズ	Eに適合

お客さまのお車で、このベビーシートをISOFIXとして取り付けできるかは、お車の取扱書にて、右記条件のISOFIX対応チャイルドシートに対応していることをご確認ください。詳しくは、販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。

必ずお読みください
P. 5~15

シートベルトで
お車に取り付ける

ベビーシート
取り付け前の準備
P. 23~24

お車に取り付ける

 お子さまの体重
13 kg未満
P. 25~28

お子さまを座らせる
P. 29~30

ISOFIXで
お車に取り付ける

ベビーシート
取り付け前の準備
P. 33~34

お車に取り付ける

 お子さまの体重
13 kg未満
P. 35~39

お子さまを座らせる
P. 41~42

取り付け手順				2
ご使用にあたって	次のものがそろっていますか..... 5 各部の名前(ベビーシート)..... 7 各部の名前(ベース、テザーベルト).. 8			5
ご使用上の注意	マーク表示について..... 9 緊急時には..... 10 お子さまを乗せるときは..... 11	取り付けるときは.....12 こんなことにも注意して.....13		9
ハンドルの使いかた				16
シートベルトで 取り付ける	お子さまの条件.....18 取り付けできるシート.....19 取り付けできないシート.....20 取り付けできるシートベルト.....21	取り付けできない シートベルト.....22 ベビーシート 取り付け前の準備.....23	お車への取り付け.....25 お子さまの座らせかた.....29	18
ISOFIXで 取り付ける	お子さまの条件.....32 取り付けできるお車.....32	ベビーシート 取り付け前の準備.....33	お車への取り付け.....35 お子さまの座らせかた.....41	32
お手入れのしかた	カバー類の取りはずし.....43 カバー類の取り付け.....45	各部のお手入れ.....47 補修部品について.....49		43

ご使用にあたって

次のものがそろっていますか

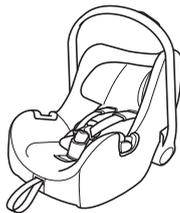
ご使用になる前に、下記の製品がそろっているかご確認ください。

欠品や破損などがございましたら、ご使用にならず、お買い上げの販売店またはお客様相談センター（0800-700-7700）までご連絡ください。お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、ベビーシートの品番を必ずお伝えください。もし、品番が不明な場合は、背面に貼ってある型式ラベルに記載されている型式ナンバーをお伝えください。（P.49参照）

■ベビーシート【NEO G-Child ISO baby】

1) ベビーシート本体

（ハーネスカバー、ヘッドクッション付き）



2) 取扱書

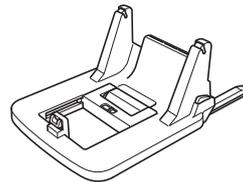
ベビーシート背面に取扱書の収納スペースがあります。



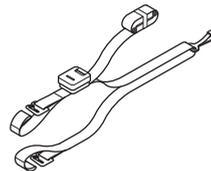
■ベースキット【NEO ISOベース】（別売）

ISOFIXとしてご使用になる場合は、ベースキット（別売）のベースとテザーベルトが必要になります。

1) ベース

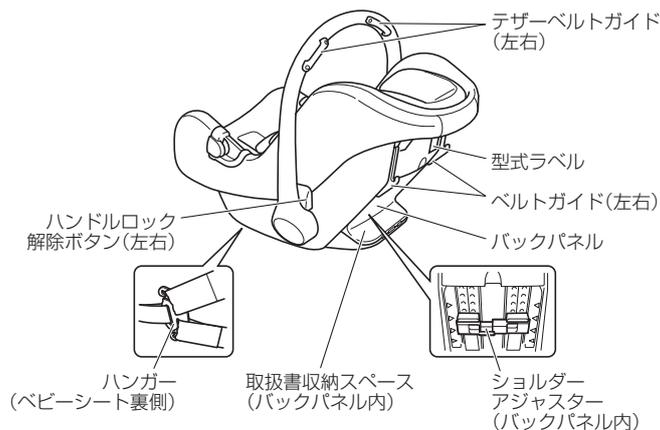
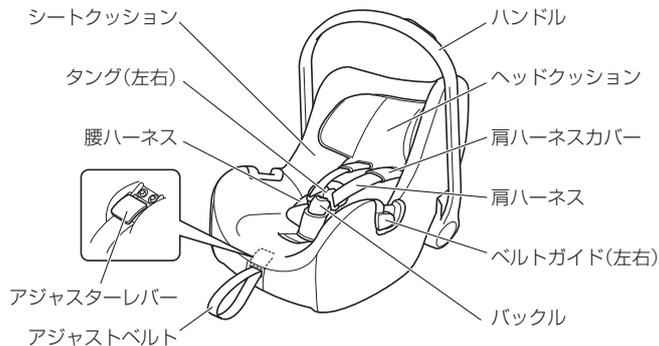


2) テザーベルト



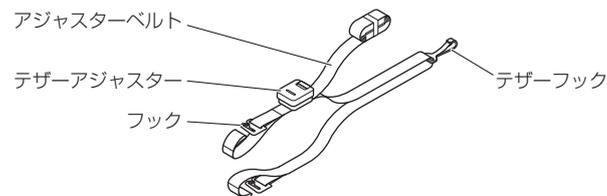
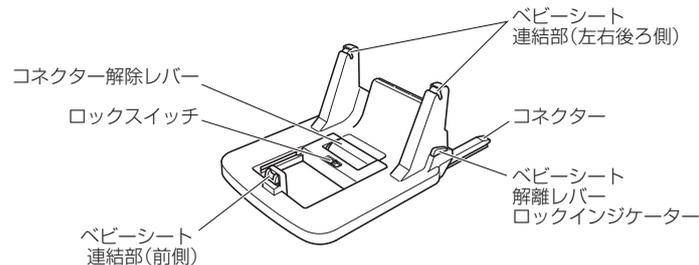
各部の名前 (ベビーシート)

実物を見ながらご確認ください。



各部の名前 (ベース、テザーベルト)

ベース、テザーベルトをご使用になる場合は、下記もあわせてご確認ください。



マーク表示について

この取扱書には、安全にご使用していただくために、特に守っていただきたいことを、次のマークで表示しています。

これらの記載内容は重要ですので、しっかりと読みください。



警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負う可能性がある内容を示しています。



注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性がある内容、または物的損害の発生が予想される内容を示しています。



知識

ベビーシートをご使用になる上で守っていただきたいこと、および知っておくと便利なことを示しています。

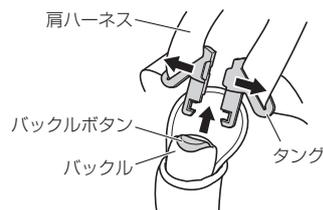


図示されている行為の禁止を示しています。

緊急時には

衝突事故などの緊急時は、あわてず次の手順で速やかにお子さまを救出してください。

- ①バックルボタンを押してバックルからタングをはずす。



- ②お子さまを静かにベビーシートから降ろす。



知識

バックルボタンを押してもタングがはずれない場合は、ハーネスを切断するなどしてお子さまを救出してください。

⚠ 警告

お子さまを乗せるときは

お子さまだけを車に残した状態でお車から離れないでください。不慮の事故（熱射病やいたずらによる事故など）につながるおそれがあります。



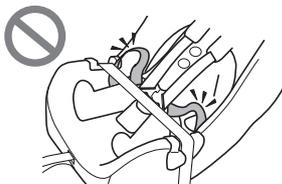
走行中は、お子さまをベビーシートから乗り降りさせないでください。



ハーネスは、ねじれないようにお子さまの身体にあわせて調節してください。ねじれていると事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



腰ハーネスで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ハーネスを低く下げて着用させてください。腹部に腰ハーネスがかかっていると、事故等のときに腹部が圧迫され重大な傷害を負う可能性があります。



⚠ 警告

取り付けるときは

ベビーシートを安全にお使いいただくため、柔軟材料（専用カバー類・ベルト類・発泡材料等）を取りはずしたり、専用品以外に取り換えて使用しないでください。



ベビーシートのハーネスを刃物等の鋭利なもので傷つけないでください。切れていたりすると、ベビーシートが正常な動きをしません。



ベビーシートを車両に固定するシートベルトやテザーベルトに緩みや、ねじれないようにしてください。ベビーシートにガタツキが生じ、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



取扱書に記載された以上の分解や、構成部品を取りはずした状態での使用および指定以外の物との交換は絶対にしないでください。



⚠ 警告

こんなことにも注意して

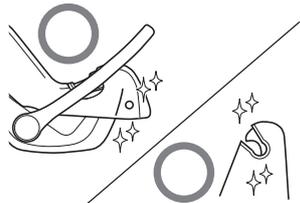
事故等で車両に強い衝撃を受けた場合は、ベビーシートにも目に見えない破損があるおそれがあるので、再使用しないでください。



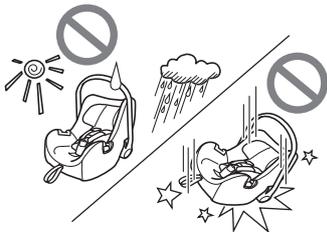
ベビーシート・ベース・テザーベルトのアジャスター部分（バックル等）には、精密な部品が組み込まれていますので、水やジュース等をかけないでください。部品の故障原因になります。



ベースのベビーシート連結部、ベビーシートの取り付けピン部に異物が入るとベビーシートが固定されないおそれがあります。



ベビーシートを保管する時には、強い衝撃を与えたり、長期間屋外に放置しないでください。



⚠ 注意

こんなことにも注意して

ベビーシートやベースに日光が当たると熱くなることがあります。大人が金属部分や樹脂部分に触れて熱さの程度を確認し、お子さまがやけどをするおそれのないことを確認の上、ご使用ください。



可動式シートまたは車両のドアにベビーシートの剛性部分（プラスチック部分等）が挟まれないようにして本品を取り付けてください。



ベースだけを取り付けたまま放置しないでください。突起部分で頭などをぶつけるおそれがあります。ベースを車室内に置く場合には、安全のためISOFIX対応チャイルドシート固定専用バーに取り付けたベースにベビーシートを固定しておいてください。



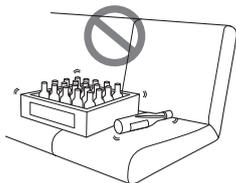
ベビーシートにお子さまを乗せないときでも、安全のため必ず固定してください。衝突や急ブレーキの際にベビーシートが移動して、傷害を負う可能性があります。



⚠ 注意

こんなことにも注意して

事故発生時や乗員に、傷害を与えるような物をお車の中に放置しないでください。
万一のとき、お子さまや乗員に当たるおそれがあり、危険です。



ハンドルの使いかた

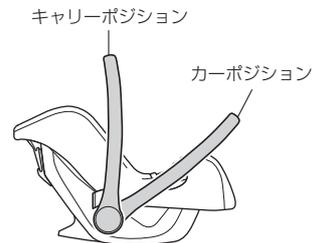
ハンドルはご使用方法により、2段階の位置でロックすることができません。

キャリアポジション

ベビーシートを手を持って運ぶときなど。ハンドルはロックします。

カーポジション

ベビーシートをお車に取り付けるとき。ハンドルはロックします。



■ハンドルの操作

- ①ハンドルロック解除ボタンを押し、ハンドルのロックを解除する。
- ②ハンドルを必要な位置に移動する。
- ③ハンドルを軽く前後に動かし、ロックされたことをご確認ください。



⚠ 警告

ベビーシートにお子さまを乗せて運ぶ際に、ベビーシートのハーネスを必ずご使用ください。

⚠ 注意

- ハンドルが可動する範囲以外に動かさないでください。ハンドルが損傷するおそれがあります。
- ハンドルは決められた位置でご使用ください。それ以外の位置でご使用になるとハンドルが損傷するおそれがあります。

取り付けできるシート

- 進行方向に対し前向きで、3点式シートベルトが付いている座席



知識

お取り付けに際しましては、お取り付けになるお車の取扱書もあわせてご確認ください。

取り付けできないシート

- シートベルトが付いていないシート



- 横向き・後ろ向きになっているシート



- ベビーシートを取り付ける場合、前方にエアバッグが装備されたシート

知識

ベビーシートをやむを得ず助手席に取り付ける場合には、シートを一番後ろの位置に調整してください。



- ベビーシートを取り付けると運転操作の妨げや、視界の妨げになるシート



警告

お車のシートが以上のタイプに該当する場合は、ベビーシートを取り付けることができません。取り付けした場合、事故時にお子さまや他の乗員が死亡または重大な傷害を負う可能性があります。

取り付けできるシートベルト

このチャイルドシートは、協定規則第16号（ECE R16）、または同等の基準で許可された3点式巻き取り装置付きシートベルトを装備したお車にてご使用することができます。

■ELR（緊急ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト

シートベルトをゆっくりと引き出すと自由に出し入れできるが、急に引く（急ブレーキなどで体が前に投げ出されるとき）とシートベルトがロックされ引き出せなくなるタイプ。



■チャイルドシート固定機構付きELRシートベルト

ベビーシートを固定するための装置が備えられているタイプ。シートベルトとして通常使用するときにはELR機能が働く。



📖 知識

現在、後席ではこのタイプのシートベルトが主流になっています。

📖 知識

お車のシートベルトの種類・特徴・長さの調整のしかたなど、詳しくはお車の取扱書をお読みください。

取り付けできないシートベルト

■2点式シートベルト

肩ベルトがなく腰ベルトの2点で固定するタイプ。



■腰ベルト側に付いたELR（緊急ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト

シートベルトをゆっくりと引き出すと自由に出し入れできるが、急に引く（急ブレーキなどで体が前に投げ出されるとき）とシートベルトがロックされ引き出せなくなるタイプ。

■ALR（自動ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト

シートベルトを引き出している途中に手を止めると、自動的にロックされ、それ以上ベルトが引き出せない（巻き戻しは可能）タイプ。

■マニュアル式シートベルト

シートベルトの巻取り装置がなく、通常はシート側面などに固定されているタイプ。

■オートマチックベルト

シートに座りドアを閉め、エンジンキーをONにすると肩ベルトが自動で装着するタイプ。腰ベルトは手動。ベルトははずすときは、ドアを開けるかエンジンキーをOFFにする。

■NLR（非ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト

シートベルトのロック機構がないため、シートベルトを巻取り装置からすべて引き出し、長さを調整するタイプ

■その他のシートベルト

P.21「取り付けできるシートベルト」に記載されていないシートベルト。

⚠️ 警告

お車のシートベルトが以上のタイプに該当する場合は、ベビーシートを取り付けることができません。取り付けした場合、事故時にお子さまや他の乗員が死亡または重大な傷害を負う可能性があります。

ベビーシート取り付け前の準備

肩ハーネスの位置

お子さまの肩の位置に合わせ、肩ハーネスの位置を調整する必要があります。

肩ハーネスはお子さまの肩より低い位置にセットします。

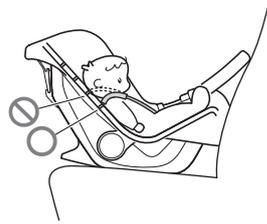
⚠ 警告

肩ハーネスは必ず正しい位置でご使用ください。
不適切な位置で使用すると、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

📖 知識

- 肩ハーネスの位置を確認するときは、ベビーシートを正しく取り付け、お子さまを乗せた状態で行ってください。
- お子さまの座らせかたにつきましては、「お子さまの座らせかた」(P.29)をご参照ください。

肩ハーネスの位置が合っていない場合、「肩ハーネスの位置調整」(P.24)を参照し、正しい状態にしてください。



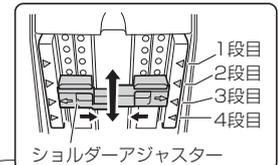
肩ハーネスの位置調整

- ①バックカバーを開く。



バックカバー

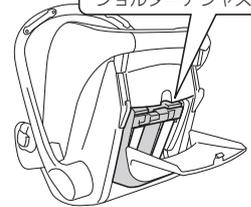
- ②ショルダーアジャスターのロックを解除し、お子さまの肩の高さに合う位置にスライドさせる。



- ③アジャスター側と本体側に表示されている矢印を合わせ、ショルダーアジャスターをロックする。

📖 知識

アジャスターがロックしない場合は、アジャスターを軽く上下に動かし、ロックされたことをご確認ください。



⚠ 警告

アジャスターがロックされていないと、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

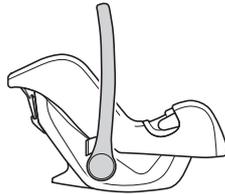
- ④バックカバーを閉じます。

お車への取り付け

- ①ハンドルを直立の位置にする。
(P.15参照)

⚠ 注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。



- ②ベビーシートの最前部がシートの背もたれにぴったりと付くように、ベビーシートを置く。

📖 知識

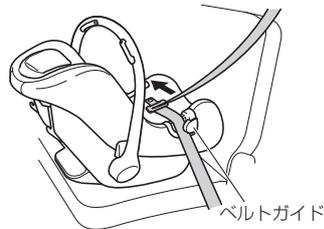
お車のシートが損傷しないようにベビーシートの下にタオルやシーツなどを敷くことをお勧めします。



- ③シートベルトをベビーシート側面のベルトガイドに沿って通す。

⚠ 警告

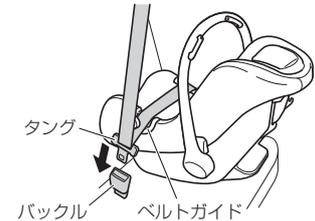
ベルトガイド以外にシートベルトを通さないでください。他の箇所を使用すると事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



- ④タングをバックルに差し込む。

⚠ 警告

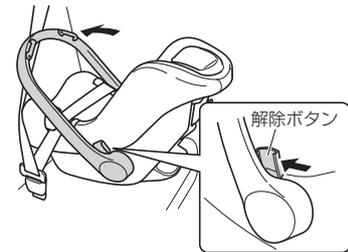
バックルが確実にロックされていることを確認してください。ロックされていないと事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



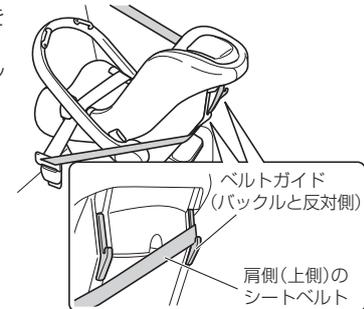
- ⑤ハンドルを背もたれ側にロックするまで倒す。

⚠ 警告

ハンドルが確実にロックされていることを確認してください。ロックされていないと事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



- ⑥肩側(上側)のシートベルトをベビーシート背面に移動させ、お車のバックルと反対側のベルトガイドに通す。



お車への取り付け

〈チャイルドシート固定機能が付いたお車の場合〉

- ⑦シートベルトを全量引き出し、チャイルドシート固定機能に切り替える。

知識

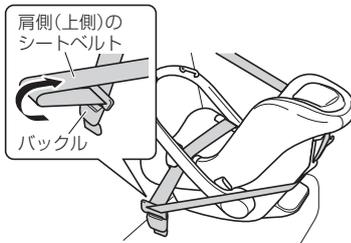
チャイルドシート固定機能の詳しい取り扱いについては、お車の取扱書をご参照ください。

- ⑧ベビーシートをシートに押し付けながら、肩側（上側）のシートベルトを引っ張り、シートベルトのたるみを取る。



知識

腰側（下側）のシートベルトに緩みがある場合はバックル側で肩側（上側）のシートベルトを引っ張ってたるみをなくしてください。



- ⑨取り付けチェック

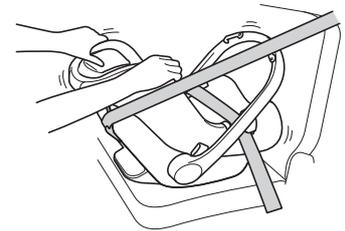
ベビーシートがしっかり取り付けられていることを確認する。しっかり取り付けられていない場合は手順②からやり直す。

警告

ベビーシートをシートに固定するシートベルトは緩みのないようにしてください。事故時に重大な傷を負う可能性があります。

知識

取り付けに関し不明な点がございましたら、お買い上げの販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。

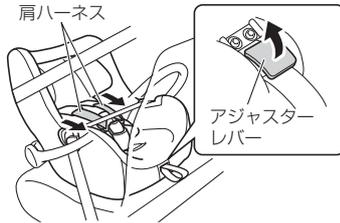


お子さまの座らせかた

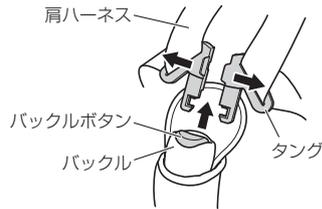
- ①アジャスターレバーを引き上げながら、肩ハーネスを引き出す。

知識

肩ハーネスを引っ張り、引き出してください。
肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せない場合があります。



- ②バックルボタンを押してバックルからタングをはずし、肩ハーネスを左右に広げる。



- ③お子さまをシートクッションの上に乗せる。

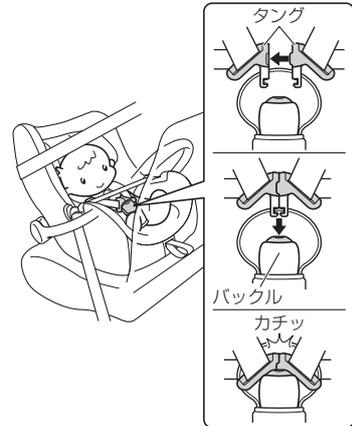
- ④肩ハーネスをお子さまの肩にかける。左右のタングを合わせ、合わせたタングをバックルにまっすぐ挿入し、「カチッ」と音が出るまで差し込む。

知識

タングを引っ張り、タングとバックルが正しく結合されているかご確認ください。

警告

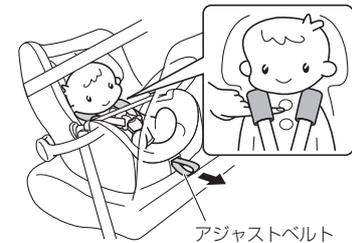
タングがバックルに正しく結合されていないと、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがベビーシートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。



- ⑤アジャストベルトを引き、お子さまの鎖骨と肩ハーネスに指一本が入る程度まで、肩ハーネスのたるみを取る。

警告

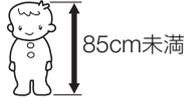
ハーネスに緩みやねじれがないようにしてください。ハーネスとお子さまの間に余分なすき間があると、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがベビーシートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。



ISOFIXで取り付ける

お子さまの条件

ベビーシートは、ご使用になるお子さまの条件に合っていることを確認し、正しい取り扱いを行ってください。

体 重	13kg未満
参考年齢※	新生児～1歳半頃まで
参考身長※	 85cm未満
取り付けかた	後ろ向き 

※年齢・身長の範囲は、おおよその目安ですのでお子さまの体重に合わせてご使用ください。

取り付けできるお車

右記条件のISOFIX対応チャイルドシートに対応しているお車のシートのみでご使用いただけます。

対応状況はお車の取扱書でご確認いただけます。

詳しくは、販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。

ISOFIX 仕様

カテゴリー	セミユニバーサル (準汎用型)
グループ	0+ (13kg未満)
サイズ	Eに適合

ベビーシート取り付け前の準備

肩ハーネスの位置

お子さまの肩の位置に合わせ、肩ハーネスの位置を調整する必要があります。

肩ハーネスはお子さまの肩より低い位置にセットします。

⚠ 警告

肩ハーネスは必ず正しい位置でご使用ください。
不適切な位置で使用すると、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

📖 知識

- 肩ハーネスの位置を確認するときは、ベビーシートを正しく取り付け、お子さまを乗せた状態で行ってください。
- お子さまの座らせかたにつきましては、「お子さまの座らせかた」(P.41)をご参照ください。

肩ハーネスの位置が合っていない場合、「肩ハーネスの位置調整」(P.34)を参照し、正しい状態にしてください。

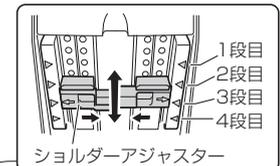


肩ハーネスの位置調整

- ①バックカバーを開く。



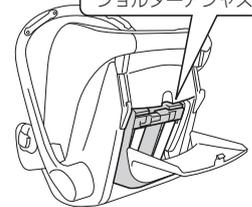
- ②ショルダーアジャスターのロックを解除し、お子さまの肩の高さに合う位置にスライドさせる。



- ③アジャスター側と本体側に表示されている矢印を合わせ、ショルダーアジャスターをロックする。

📖 知識

アジャスターがロックしない場合は、アジャスターを軽く上下に動かし、ロックされたことをご確認ください。



⚠ 警告

アジャスターがロックされていないと、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

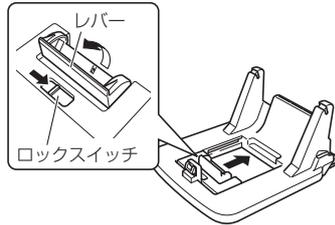
- ④バックカバーを閉じます。

お車への取り付け

- ①ベース中央のレバーを引き上げながら奥に押し、コネクターを最大まで伸ばし、ロックスイッチをロック側に動かす。

注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。



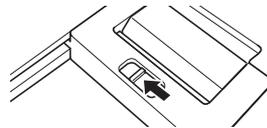
- ②シートクッションと背もたれの間を広げ、ISOFIX対応チャイルドシート固定専用バーの位置を確認し、コネクターを差し込む。コネクターが固定専用バーにロックすると、本体取り付け部のカバーが開く。ロックしない場合は、コネクターを引き出し、再び差し込む。

警告

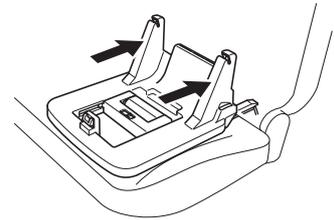
左右のコネクターがロックされていないと、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



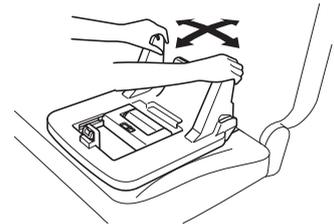
- ③ロックスイッチを解除する。



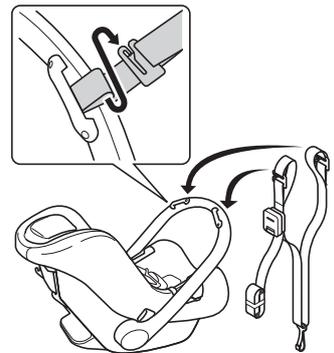
- ④ベースをシート背もたれに押しこめつける。



- ⑤シートベースがしっかり取り付けられていることを前後左右にゆらして確認する。



- ⑥デザーベルト先端をハンドルにあるベルトガイドに通し、折り返してフックに引っ掛ける。

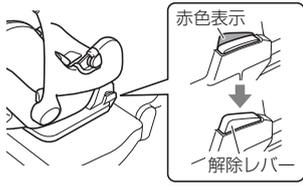


お車への取り付け

- ⑦ベビーシート前側の取り付けピンを、ベースの本体連結部に差し込み、ベビーシートを固定する。

知識

正しくロックした場合には、側面の解除レバーが上がり、赤色表示が見えなくなります。



- ⑧ベビーシートを上から押さえつけ、ベビーシート後ろ側もロックされたことを確認する。

知識

ベビーシートがベースにうまく取り付けられない場合は、④の手順をとばし、最後にベビーシートを背もたれに押さえつけます。



- ⑨ハンドルロック解除ボタンを押し、ハンドルのロックを解除し、ハンドルを背もたれ側にロックするまで倒す。

警告

ハンドルが確実にロックされていることを確認してください。ロックされていないと事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

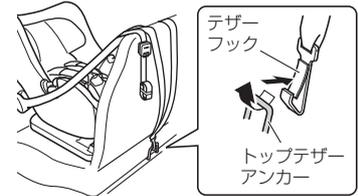


- ⑩テザーフックをトップテザーアンカーに連結する。

知識

テザーベルトの取り扱いにつきましては、お車の取扱書もあわせてご確認ください。

〈トップテザーアンカーがシートにある場合〉



〈トップテザーアンカーがシート以外にある場合〉

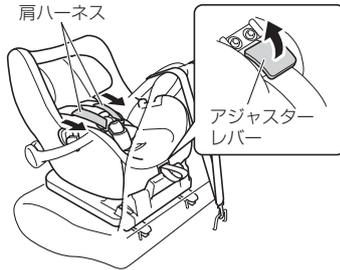


お子さまの座らせかた

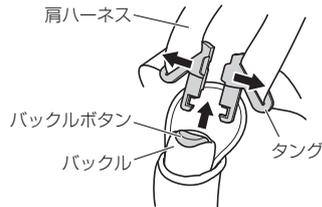
- ①アジャスターレバーを引き上げながら、肩ハーネスを引き出す。

知識

肩ハーネスを引っ張り、引き出してください。
肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せない場合があります。



- ②バックルボタンを押してバックルからタングをはすし、肩ハーネスを左右に広げる。



- ③お子さまをシートクッションの上に乗せる。

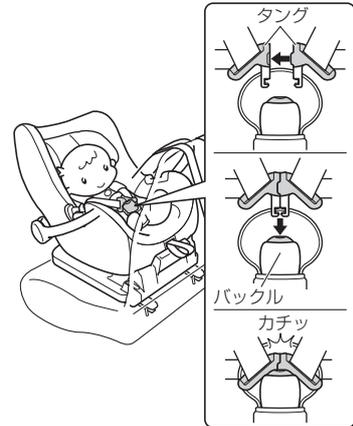
- ④肩ハーネスをお子さまの肩にかける。左右のタングを合わせ、合わせたタングをバックルにまっすぐ挿入し、「カチッ」と音でするまで差し込む。

知識

タングを引っ張り、タングとバックルが正しく結合されているかご確認ください。

警告

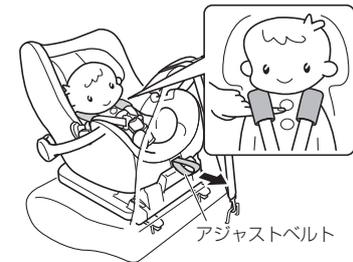
タングがバックルに正しく結合されていないと、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがベビーシートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。



- ⑤アジャストベルトを引き、お子さまの鎖骨と肩ハーネスに指一本が入る程度まで、肩ハーネスのたるみを取る。

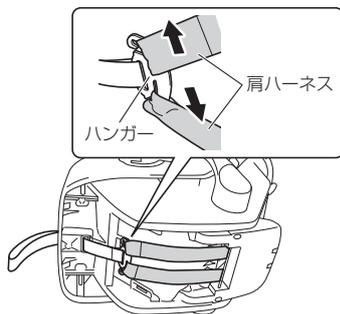
警告

ハーネスに緩みやねじれがないようにしてください。ハーネスとお子さまの間に余分なすき間があると、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがベビーシートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。



カバー類の取りはずし

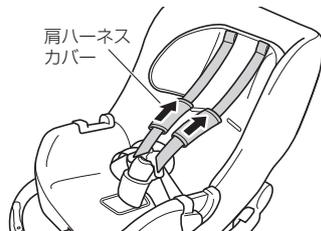
- ①ベビーシートを横にして、肩ハーネスをハンガーから取りはずす。



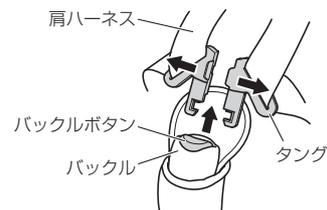
- ②ヘッドクッションから肩ハーネスを引き抜く。



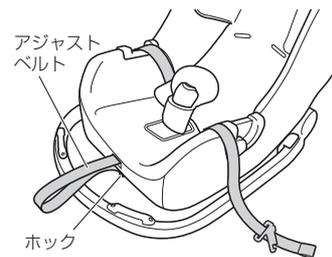
- ③肩ハーネスから肩ハーネスカバーを抜き取る。



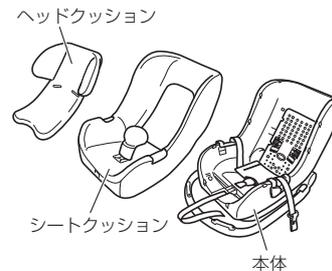
- ④バックルボタンを押してバックルからタングをはずす。



- ⑤アジャストベルト末端のフックをはずす。



- ⑥本体からヘッドクッション、シートクッションを取りはずす。



カバー類の取り付け

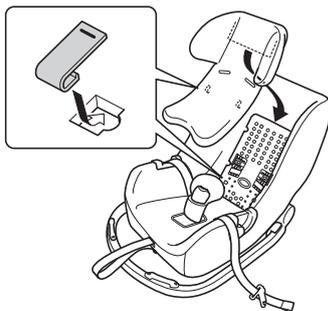
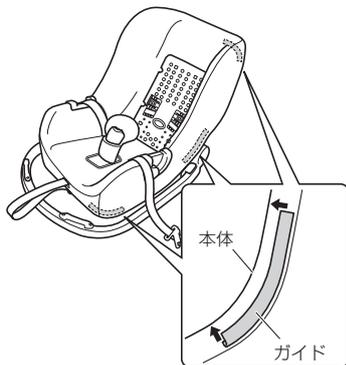
「取りはずし」と逆の手順で、各カバー類を取り付ける。

知識

シートクッションは本体の形状に合わせてかぶせ、ガイドで固定します。

注意

- クッションがズれていたり、本体から浮いていないことを確認してください。事故時に十分な性能を発揮しないおそれがあります。
- ガイドが本体に確実にハマっていることを確認してください。事故時に十分な性能を発揮しないおそれがあります。



警告

- 専用クッション以外は使用しないでください。事故時に十分な性能を発揮しないおそれがあります。

警告

- 肩ハーネスがねじれていないことを確認してください。ねじれていると、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。
- 専用カバー以外は使用しないでください。事故時に十分な性能を発揮しないおそれがあります。
- カバー類は必ず取り付けて使用してください。取り付けないと金属部分や樹脂部分が、日光が当たることで熱くなり、やけどするおそれがあります。

各部のお手入れ

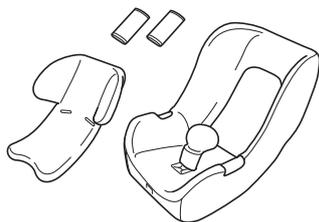
〈カバー類〉

カバー類が汚れた場合は、ベビーシートから取りはずし、中性洗剤を使用して手で押し洗いをしてください。



⚠ 注意

洗濯後は、完全に乾燥させてからご使用ください。



〈本体〉

ベビーシートのプラスチック部が汚れた場合は、柔らかい布で乾拭きまたは水拭きをしてください。

⚠ 注意

- 洗剤類を使用しないでください。変色等のおそれがあります。
- 水拭き後は、完全に乾燥させてからご使用ください。

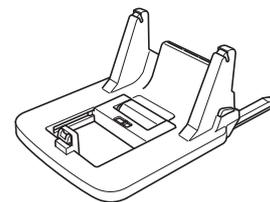


〈ベース〉

ベースのプラスチック部が汚れた場合は、柔らかい布で乾拭きまたは水拭きをしてください。

⚠ 注意

- 洗剤類を使用しないでください。変色等のおそれがあります。
- 水拭き後は、完全に乾燥させてからご使用ください。



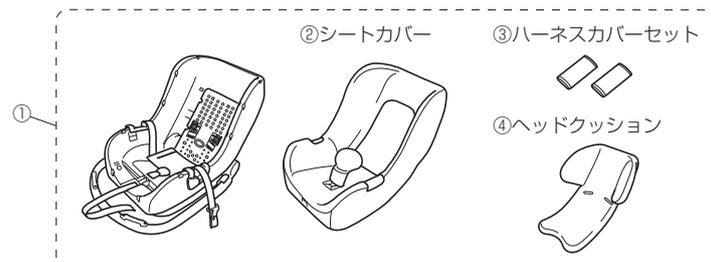
補修部品について

お買い上げの販売店、もしくはお客様相談センター（0800-700-7700）までご連絡ください。
お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、ベビーシートの品番を必ずお伝えください。もし、品番が不明な場合は、背面に貼ってある型式ラベルに記載されている型式ナンバーをお伝えください。



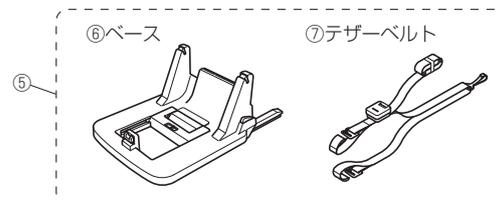
■ベビーシート

番号	品名	品番	備考
①	NEO G-Child ISO baby	73700-52090	②、③、④のセット
②	シートカバー	73731-52090	
③	ハーネスカバーセット	73715-52010	
④	ヘッドクッション	73731-52100	



■ベースキット（別売）

番号	品名	品番	備考
⑤	NEO ISO ベース	73730-52070	⑥、⑦のセット
⑥	ベース	73730-52080	
⑦	テザーベルト	73721-52010	



お問い合わせ・ご相談は下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社

お客様相談センター
全国共通・フリーコール

☎ 0800-700-7700

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目10番27号
第2豊田ビル西館7階

オープン時間/365日 9:00~18:00

製造元 **タカタ株式会社** 〒107-8508 東京都港区赤坂2-12-31

73700-52090-1